

和 7 年度事業報告

事 業 目 的

神崎市及びその周辺の住民が自発的に行う非営利の公益活動（以下「CSO活動」という）の持続促進を支援する事業を行い、行政や企業、様々なCSOとの円滑な連携を図るとともに自らの活動を通じて、魅力と活力に満ちた幸せつなぐまちづくりに寄与する事を目的とする。

総 括 的 事 項

CSO活動拠点「神幸館」設置活動 20 年目（法人成 6 年目）を迎え、CSOの施設利使用（定例会や会議、様々なサークル活動など）年間利活用回数 304 回（前年度比プラス 49 回）、利活用人員のべ 3,716 名（前年度比プラス 615 名）の利活用があり、多様な相談業務対応など含めると年間約 1 万人超以上出入りがありました。

利活用はまだまだ増加傾向にあり、様々なCSOや地域より様々な高いニーズを肌で感じています。

CSO主体で行われる長崎街道かんざき宿場まつりやかんざき神幸食フェスタ、かんざきクリスマスマーケット、隔年開催のみゆき大祭など地域において代表されるイベント等の窓口業務をはじめ、神崎町子どもクラブ連絡協議会などの事務委託業務なども拠点業務として確立しており、中間支援組織としての機能が更に高まってきました。

また、隣接する神崎市勤労者体育館の平日利用者窓口機能実施にて多くの利用者（社会スポーツ系 CSO）の利便性も高まり、重要な拠点機能となっています。

命題である市民協働推進については、地域地縁CSO活動等を中心に伝承文化各種行事などがあらためて重要な地域コミュニティとしての見直しが見られており、それぞれの地域ニーズに合わせた協働活動認識への高まりが見られ、更なる推進充実が見られてきました。

そして、「地域共有課題の解決と地域の多種多様な団体の人的ネットワークの形成」推進に伴い、今年度は節目の神崎市合併 20 周年記念事業業務委託を受けて、「未来の神崎へ、今わたしたちができること」をテーマに、市民団体活動紹介ブース「まちのチカラ」・かんざき未来会議シンポジウム並びにどうせなら知り合おう交流会を実施。

多くの新たな CSO や人材とのつながりができました。今後も継続して実践サポートを行い、さらなる市民・CSO主体による協働のまちづくり推進・実践構築にて引き続き「未来へ幸せつなぐまちづくり」を目指し活動しました。

櫛田宮・長崎街道の歴史的建築物と歴史文化を生かした活気ある中心市街地の再生活動として、まずは行動へと中心市街地再生へ向けた試験的要素も持つ、かんざき「櫛田の市」を毎月継続して行いました。継続開催により出店者同士のつながりが見られ、まちなかイベント等のオピリオンリーダー的な存在になっています。

併せて行う「第 14 回神幸節分祭」では、より縁起深く盛り上げようと地域社会へ多くの除

災招福と櫛田宮はもとより周辺の中心市街地の賑わい創造を願って今回も地域総鎮守である櫛田宮の参道へ縁ある多様のＣＳＯにて大型のお多福面設置を行いました。

毎回、設置期間中は SNS 映えしており多数の来場者が絶えません。節分祭当日は福豆まき後に残念ながら雨天になったものの、神埼市内外からのべ 6,000 人の来場者が詰めかけ、大盛況となりました。すっかり、皆さんから親しまれる神埼の代表的な催しとなり、近年を代表する創造型地域コミュニティとなっています。

さらに、継続して行っているまちづくりワークショップも中心市街地拠点づくりを中心に引き続き行っており、単なる商業者だけでの市街地（商店街）再生活動では無く、中心市街地の再生が地域そのものの（ひいては神埼市）大きな社会課題としての取組みが見られ、地元自治会や関係ＣＳＯによる重点協働活動として、拠点利活用等による将来の再生へ向けた地域の士気高揚へ繋がった活動となっています。

さらに、今年度は地域・市民主体の馬場川かわまちづくり計画策定事業を実施。

馬場川まちづくりワークショップを 3 回開催して、のべ 102 名の参加があり、今後のかわまちづくりにおいて、水環境の改善及び地域活性化、親水性を高める重要エリアとしての再認識や今後進めて行くかわとまちをつなげる自発で主体的な活動の大きな指針づくりとなりました。

とくに、ワークショップを通じて、そこに住む市民や関係者が自らこんな馬場川にしたい（していこう）のとりまとめと目指すイメージパースづくりが出来た事が大きな成果です。

また、旧庁舎跡地実施計画や長崎街道歴史的建物活用等と併せて行うかんざき「水の郷」再生市民会議活動と協働した活動を推進中であり、宿場まつりでの馬場川プロジェクトをはじめ、清掃活動／乾杯プロジェクト等も継続実施となりました。

お陰様で今年度も様々な事業を行う事ができました。

これらの事業実施について、神埼市や佐賀県はもとより、市民や各種ＣＳＯの方々の深いご理解と支援・協力にて成り立っており、心より御礼申し上げます。

事業内容

- 1 ＣＳＯ活動拠点「神幸館」としてのＣＳＯの業務推進・活動支援
 - ・各種ＣＳＯ、サークル等への活動場所としての会場貸し出し
年間の利活用回数 304 回・利活用人員 3,716 人（届出数のみ）
 - ・各種ＣＳＯ等窓口業務委託受入推進ならびに自立支援他
神埼町子どもクラブ連絡協議会事務委託
子供みこし振興会業務委託
締元行列保存会事務委託
壱組締元行列実行委員会事務委託他
 - ・各種イベント窓口事務局受入
第 7 回かんざき神幸食フェスタ実行委員会事務局受入（窓口業務他全般）
第 31 回長崎街道かんざき宿場まつり事務局受入（窓口業務他全般）



まちなか賑わい持続啓発プロジェクト「つなぐくしだ」WEBサイト運営
第2回かんざきクリスマスマーケット事務局受入（窓口業務他全般）

- ・ 神崎市郡医師会事務局・神崎ライオンズクラブ事務局受入管理業務
- ・ 神崎市勤労者体育館の利用者窓口業務

2 市民協働推進

- ・ 神崎市合併20周年記念事業 業務委託
- ・ 神崎市まちづくり市民活動支援事業 相談他サポート
- ・ CSO人材育成事業 研修会、交流会等の開催
- ・ 拠点として関わる各種事業に常に「しかけ」を組み市民協働推進啓発活動
- ・ 佐賀県CSO提案型協働創出事業窓口として参画対応
- ・ 佐賀県より採択された「市町業務の担い手あり方についての提案」
「中心市街地賑わい再生活動に関わる運営担い手づくり事業」として継続活動。

3 中心市街地賑い再生事業

- ・ 神崎市中心市街地賑い再生「まちづくりワークショップ」実施
神崎市中心市街地拠点づくり事業への参画 平成21年より窓口事務局
長崎街道門前広場ならびに旧古賀銀行神崎支店 利活用・管理運営等協議
を実施
- ・ 馬場川かわまちづくり計画策定事業（令和8年も継続）
- ・ かんざき「櫛田の市」の取組み
毎月第1土曜日に長崎街道門前広場 旧古賀銀行神崎支店 櫛田宮境内（能舞台他）
を会場に開催。（1月のみ第2土曜日）
お陰様で、多くのなじみ客が増加しており、人が行き交う催しとして定着して令和7
年10月で14周年を迎え、3月で第174回の開催となりました。
季節や地域既存行事等へ併せての開催を心掛けての運営をはじめ、お客様感謝抽選会
等実施して来場集客アップを企画実施。
近年は多様なCSOや神崎高校の探究事業ブース実践等からの協働参画をはじめ、飲
食、アクセサリー等コーナー増強や子どもコーナー読み聞かせ、昔遊び、各種体験コ
ーナー設置等の新規出店に伴い、若い世代からのリピーター増加中です。
- ・ 中心市街地 賑わい再生PR発信事業
CSOかんざき神幸館「幸せまち歩き」WEBサイトやSNSを活用して、まちなかイ
ベント等を長崎街道門前広場や旧古賀銀行等と併せて情報発信。
今後も西九州大生や商工会青年部等若手と協働して第2弾3弾と継続実施

4 かんざき情報発信ならびに活動PR

- ・ CSOかんざき神幸館HP <http://kamisachi.jp/happy/>



5 組織ならびに拠点運営体制強化

- ・認定NPO法人化への準備
- ・更なるCSO ネットワーク活動充実へ向けて広域の多様なCSO からよりメンバーを選任して、定期的な連絡協議会の実施に向けた準備活動
- ・佐賀県ふるさと寄付金（「NPO等を指定した支援」）受入強化
ふるさとチョイス（佐賀県NPO支援ページ登録）での拠点運営体制基盤づくり実施

6 その他目的を達成するための事業

- ・神埼小学校「まち探検」への受入等の協力
- ・神埼高校学校運営協議会参画
総合的な探究への協力（櫛田の市ブース他）
- ・土井の上橋架け替え／市道一丁目南線道路新設に伴う各種調整
- ・神崎市水の郷再生市民会議への参画実践
- ・神崎市総合戦略会議参加
- ・西九州大学 あすなろう（対応実践）等への学生との協働事業実施
神幸食フェスタ、宿場まつり、クリスマスマーケット等体験ボランティア他
- ・椋（むく）の木保全事業（馬場川沿い西馬場）
- ・櫛田宮 ぼんぼり設置時作業全般窓口業務
お多福面（1月）花見・みゆき大祭（4月）宿場まつり（7月）
- ・佐賀県地域づくりネットワーク協議会への参画
- ・（公）佐賀未来創造基金への参画
- ・佐賀県中間支援組織情報交換会への参加
- ・佐賀県「抱く県さが」事業参加
- ・その他各種事業関連マスコミ等取材対応

7 定期的な運営委員会の開催

基本的に月1回開催 今年度は13回開催

令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人 CSOかんざき

1 事業実施の内容

神幸館を活動拠点として持続して多様なCSO等の活動支援や多様な団体ネットワークづくり、情報収集・発信及び啓発等事業実施。

今年度は神崎市合併 20 周年記念事業委託／馬場川かわまちづくり計画策定事業実施

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 支出額 (単位:千円)
①CSO等の支援に関する事業	CSO活動支援業務推進・ 充実活動実施	(A)通年 (B)神幸館～ 神崎市内外 (C)2人	(D)神崎市 内および 周辺の市 民、CSO等 (E)のべ1万人以上	0
②CSO活動に関する住民・行政・企業等のネットワークに関する事業	神幸館を拠点に多様な CSO活動支援の中間支援 活動を通じてネットワー ク構築実施 ・神崎市合併20周年記念 事業委託 ・馬場川かわまちづくり計 画策定事業	(A)通年 (B)神崎市内外 (C)2人	(D)神崎市 内および 周辺の市 民、CSO等 (E)のべ1 万人以上	1,349
③CSO活動に関する	CSO活動に関する情報の 収集・発信	(A)通年 (B)神崎市内外	(D)神崎市 内および	

る情報収集・発信及び啓発に関する事業	市民協働推進実施	(C)2人	周辺の市民、CSO等 (E)のべ1万人以上	277
④CSO活動拠点管理運営事業	「神幸館」の管理運営事業 利活用回数 304回 利活用人員のべ 3,716人 (届出数のみ 通常利用者除く)	(A)通年 (B)神幸館 (C)2人	(D)神崎市 内および 周辺の市民、CSO等 (E)のべ1万人以上	2,919
⑤教育訓練事業	西九州大学あすなろう体験 ならびに神埼高校との「総合的な探究の時間」を活用した地域連携活動	(A)通年 (B)櫛田の市宿場まつり (C)2人	(D)西九州大学、神埼高校生 (E)のべ100人	0
⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業	かんざき「櫛田の市」事業 多様なCSOと協働した持続開催	(A)月1回 (B)長崎街道門前広場 旧古賀銀行神埼支店 櫛田宮 (C)10人程度	(D)神崎市 内および 周辺の市民 (E)のべ3万人以上	1,269